



東北大学

2011年7月29日

報道機関各位

東北大学

災害対応ロボットによる被災状況調査の共同実験報告会の案内

東北大学大学院情報科学研究科および大学院工学研究科極限ロボティクス国際研究センターの田所諭教授、吉田和哉教授、永谷圭司准教授、大野和則客員准教授の研究グループは、米国ペンシルバニア大学の Vijay Kumar 教授、Nathan Michael 助教授の研究グループ、および国際レスキューシステム研究機構と共同で、災害対応無人走行ロボット **Quince** と災害対応小型飛行ロボット **Pelican** による、被災建物内における情報収集の共同実験を行いました。この技術は、原子炉建屋内のアクセス困難な場所の調査などに活用されると想定されます。

このたび、その成果を公開報告いたしますのでご案内いたします。ご取材の程、よろしくお願い申し上げます。

記

会合名：共同実験報告

日時：2011年8月1日（月）10:30～12:00

場所：東北大学工学部中央棟 4F 中会議室

報告する実験の内容：

- ・災害対応無人走行ロボット **Quince** による、被災建物の情報収集。NEDO プロジェクトで開発され、福島原発で使用されている **Quince** を用いて、被災状況の調査を行った。
- ・災害対応小型飛行ロボット **Pelican** による、被災建物の情報収集。屋内を飛行し、被災状況の調査を行った。
- ・**Quince** と **Pelican** の協調作業により、無線や離着陸の問題を解決し、相互に機能を補完しながら、被災状況の調査を行った。

実験場所：東北大学工学研究科 電気系 1 号館

実験日時：2011年7月28日～7月31日

備考：実験の妨げになりますので、実験中の取材はご遠慮ください。

【問い合わせ先】

東北大学大学院情報科学研究科および大学院工学研究科極限ロボティクス国際研究センター
田所諭教授

電話：022-795-7022 メール：tadokoro@rm.is.tohoku.ac.jp